

かべ あな だい に わ 壁の穴、第二話



とう 父ちゃんは、あんぜん、安全で、もっと ひろ いえ み 広い家を見つけないければい
けないと い いのち ぼく よっか たび で 言って、命がけで3泊4日の旅に出た。そして、
この あたら かべ あな み う 新しい壁の穴を見つけたらしい。でも、生まれたばかりの
妹 達がいもうと たち じぶん ある 自分で歩けるようになるまで、引っ越し
はできなかつた。僕 達は、その あいだ いじょう にんげん み 間、これ以上人間に見ら
れないように、とても ちゅういぶか す 注意深く 過ごした。そして、やっと
妹 達がいもうと たち ある ひ こ ひ き 歩けるようになって、引っ越しの日が決まったん
だ。

ちい 小さい妹 達を いもうと たち つ 連れて、げん はな あたら 3軒も離れたこの新しい
いえ ひ こ く もじとお いのち とちゅう 家に引っ越して来るのは、文字通り命がけだった。途中、
ねこ か いえ にわ とお 猫を飼っている家の庭を、通らなければならなかった
からだ。ねこ め さ ぼく たち いき 猫が目を覚まさないように、僕 達はそっと 息を
ころ ある とき ねこ かため あ 殺して歩いた。でも、その時、猫が片目を開けてこっちを

み ぼくたち きづ ぼく しんぞう
見た。そして、僕達に気付いてしまったんだ。僕は心臓が
と おも し ものぐる はし
止まるかと思ったよ。もう、みんな、死に物狂いで走った。
あし おそ ひき いもうとたち ねこ つか
でも、足が遅かった2匹の妹達は、猫に捕まってしまっ
た。あっという間の出来事だった。それでも、僕達は止ま
るわけにはいかなかった。みんな、悲しくて泣きながらも
ひっし はし あたら いえ かべ あな
必死で走った。だから、ついにこの新しい家の壁の穴に
とうちゃく とき かぞく ひき だ あ
到着できた時は、ほっとして家族4匹で抱き合った。

あたら いえ ちい おんな こ す
この新しい家には、クミコという小さな女の子が住んで
いる。もちろん、彼女の両親も、そして、祖父母達も一緒に
かのじょ りょうしん そふぼ たち いっしょ
住んでいる。このクミコが、毎日たくさんの食べ物を
す まいにち た もの
テーブルの下にこぼしてくれるんだ。だから、「ここに
ひ こ き いろ た もの た
引っ越して来てから、色んな食べ物を食べられるようにな
ぼく りょうしん よろこ
ったわ」と、僕の両親は喜んでいた。

Vokabular

Bitno

三泊 <i>brojač</i> • tri noći	さんぱく	文字通り <i>imenica, prilog</i> • doslovno	もじどおり
旅 <i>imenica, suru-glagol</i> • put, putovanje	たび	気付く <i>glagol(五)</i> • primijetiti	きづく
間 <i>Imenica, prilog</i> • sredina, vremenski period	あいだ	心臓 <i>imenica</i> • srce	しんぞう
過ごす <i>glagol(五)</i> • provoditi (vrijeme)	すごす	あつという間 <i>izraz</i> • u trenu / dok kažeš keks	あつというま
決まる <i>glagol(五)</i> • biti odlučeno	きまる	出来事 <i>imenica</i> • događaj	できごと
連れる <i>glagol(一)</i> • povesti sa	つれる	到着 <i>imenica, suru-glagol</i> • dolazak	とうちゃく

Ostalo

第 <i>prefiks</i> • prefiks za tvorbu rednih brojeva	だい	4 日 <i>brojač</i> • četiri dana	よっか
二話 <i>brojač</i> • druga epizoda	にわ	出る <i>glagol (一)</i> • izaći	でる
父ちゃん <i>imenica</i> • tata	とうちゃん	新しい <i>i-pridjev</i> • nov	あたらしい
安全 <i>imenica, na-pridjev</i> • sigurnost	あんぜん	壁 <i>imenica</i> • zid	かべ
広い <i>i-pridjev</i> • prostrano, široko	ひろい	穴 <i>imenica</i> • rupa	あな
家 <i>imenica</i> • kuća	いえ	生まれる <i>glagol (一)</i> • roditi se	うまれる
見つける <i>glagol (一)</i> • pronaći	みつける	妹 <i>imenica</i> • mlađa sestra	いもうと
言う <i>glagol (五)</i> • reći	いう	妹達 <i>sufiks za množinu</i> • mlađe sestre	いもうとたち
命がけ <i>imenica</i> • riskirati život	いのちがけ	自分 <i>zamjenica</i> • ja	じぶん

歩く <i>glagol(五)</i> • hodati	あるく	離れる <i>glagol(一)</i> • odvojiti se	はなれる
引越す <i>glagol(五)</i> • preseliti se	ひっこす	来る <i>nepravilan glagol</i> • doći	くる
僕 <i>zamjenica</i> • ja, muški	ぼく	途中 <i>imenica, prilog</i> • usred	とちゅう
以上 <i>imenica, prilog</i> • više od	いじょう	猫 <i>imenica</i> • mačka	ねこ
人間 <i>imenica</i> • čovjek	にんげん	飼う <i>glagol(五)</i> • imati (životinju)	かう
見る <i>glagol(一)</i> • vidjeti	みる	庭 <i>imenica</i> • vrt	にわ
注意深い <i>i-pridjev</i> • oprezan	ちゅういぶかい	通る <i>glagol(五)</i> • proći kroz	とおる
小さい <i>i-pridjev</i> • malen	ちいさい	目を覚ます <i>izraz</i> • probuditi se	めをさます
3軒 <i>brojač</i> • tri kuće	さんげん	息を殺す <i>izraz</i> • zadržavati dah	いきをころす

時 <i>imenica, prilog</i> • tren, vrijeme	とき	足 <i>imenica</i> • noga	あし
片目 <i>imenica</i> • jedno oko	かため	遅い <i>i-pridjev</i> • spor	おそい
開ける <i>glagol(一)</i> • otvoriti	あける	二匹 <i>brojač</i> • dvije male životinje	にひき
止まる <i>glagol(五)</i> • stati	とまる	捕まる <i>glagol(五)</i> • biti uhvaćen	つかまる
思う <i>glagol(五)</i> • misliti	おもう	悲しい <i>i-pridjev</i> • tužan	かなしい
死に物狂い <i>izraz</i> • očajnički	しにものぐるい	泣く <i>glagol(五)</i> • plakati	なく
走る <i>glagol(五)</i> • trčati	はしる	必死 <i>na-pridjev, no-pridjev</i> • očajno	ひっし

Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod. Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz sam tekst.

旅 ・ 過ごす ・ 心臓 ・ 出来事 ・ 到着

2. Odgovorite na pitanja:

- (i) 父^{ちち}ちゃんは新^{あた}しい壁^{かべ}の穴^{あな}を見^みつけるために何^{なに}をしましたか？

- (ii) 何^{なん}で今^{いま}すぐに引^ひっ越^こしで^{ひっこ}きませんでした？

- (iii) 引^ひっ越^こしの途^と中^{ちゅう}で何^{なに}がありました？

- (iv) 新^{あた}しい壁^{かべ}の穴^{あな}は前^{まえ}のとど^{ちが}う^うのですか？

(v) 語り手の両親は何で喜んでいますか？

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

泊 ・ 旅 ・ 間 ・ 過ごした ・ 決まった ・ 連れて ・ 文字通り
気付きませんでした ・ 心臓 ・ あっという間 ・ 出来事 ・ 到着

- (i) 私は名古屋に一_____旅行をする計画をしている。
- (ii) _____に行くときはブラシを持っていくのは当然だ。
- (iii) 川と丘の_____にむらがある。
- (iv) 石子は「昨日本屋で_____数時間は幻想的でした」と金魚の幸子ちゃんに話しました。
- (v) 去年賛子の村で近郊の森全部をでかい壁を作るために使うと_____から、賛子は今でもそれを止めようとしている。
- (vi) 花子ちゃん、武君を_____ビーチに来てね、スイカ割するから。
- (vii) 愛子は先生の_____数学の問題を解いたけど何回解いても答えは正しくなかった。
- (viii) 腕を蚊に刺されているのに_____。
- (ix) 人ごみにそんなに長くいるのは_____に悪い。
- (x) 一週間後山を登りに行ったけど_____に疲れて五時間もかかったのさ。
- (xi) 武君は「僕はその_____とは何の関係もない」と言ったけど、誰も信じなかった。
- (xii) 消防車が_____した時にラブホテルはすでに燃えつくした。